

**スポーツ健康都市宣言記念事業 東京 2020 公認プログラム
「第 37 回大田区区民スポーツまつり」の実施結果について**

1 目的

区民の間に広くスポーツへの関心と理解を深め、様々なスポーツ種目に親しむ機会を創出する。子どもから高齢者までが参加できるプログラムを提供し、健康・体力づくり、生きがいを図るとともに、区民相互の交流の契機とする。

2 実施状況

(1) 日 程

令和2年10月11日（日）

(2) 会 場

台風14号の影響により、屋内のプログラムのみ実施した。

実施会場：大田区総合体育館、大森スポーツセンターを含む12会場

中止会場：大森東水辺スポーツ広場、大田スタジアムを含む12会場

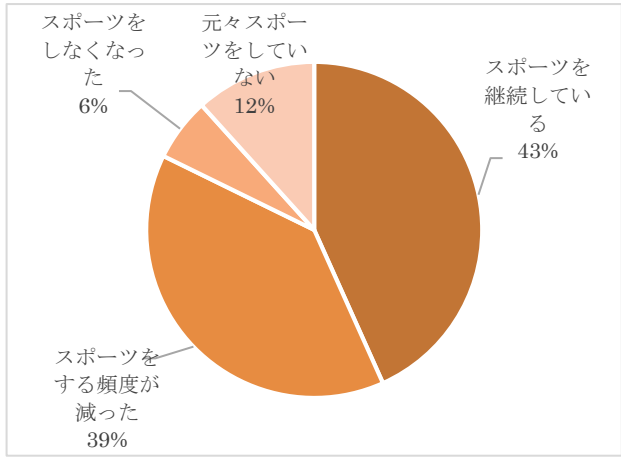
(3) 参加者数

約1,600人

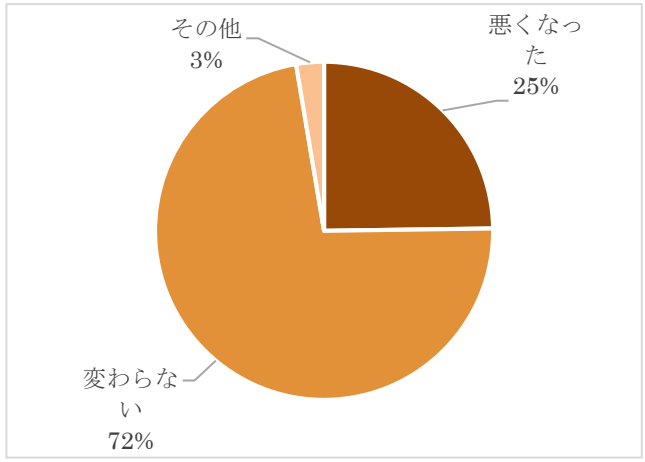
3 参加者のアンケート調査結果（抜粋）

回答者数：247人

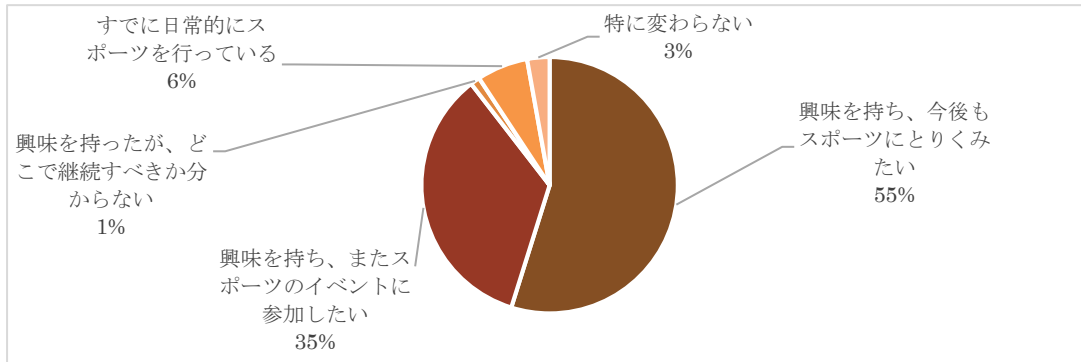
(1) 現在のスポーツの取組み状況



(2) 「頻度が減った」「スポーツしなくなった」と答えた方の体調の変化



(3) 参加を契機としたスポーツへの興味の有無



4 実施団体からの意見・感想 (20 団体からの回答)

- (1) コロナ禍の開催で、計画、準備、当日の段取りに多くの時間を費やし、大変だった。また、参加人数の制限、体験時間の短縮などを行ったが、参加者は楽しみ、笑顔が見られたので、実施してよかったと感じた。
(同趣旨の意見 13 団体)
- (2) 開催準備は区のガイドラインに沿って実施した、11 月以降開催予定のスポーツ大会においても、この経験を活かし、安全かつ充実した大会を開催するよう努力したい。(同趣旨の意見 2 団体)
- (3) 今年は、実施にあたり、様々な制限などがあり、周知に悩んだ。結果、参加者が少なく残念だった。(同趣旨の意見 3 団体)

5 まとめ

- (1) コロナ禍において、「スポーツをしない・頻度の減った方」で体調が不調な方は 25%、変わらない方は 72%。スポーツは健康・体力維持に密接な関係があるため、新しい生活様式に即し、動画により自宅でできるスポーツの推奨やランニングなど個人でできるスポーツの機会の提供を進めていく。
- (2) 区民スポーツまつりの参加により、「スポーツに関心を持ち今後もスポーツに取り組みたい」、「スポーツイベントに参加したい」の回答は、9 割を占め、事業が区民のスポーツに親しむ機会として効果的であった。
- (3) スポーツ団体は、ガイドライン等を踏まえ、コロナウィルス対策を講じ、安全性を確保しながら、スポーツを実施し、「するスポーツ」「支えるスポーツ」の実践に努めている。今後も、区は団体等と連携しながらスポーツ事業の推進を図っていく。
- (4) 今回は、三密対策を取りにくいプログラムの中止や台風のため実施会場が減ったことにより参加者数が少なかったが、来年度以降は多くの方が参加できるようなイベントにしていく。